

現在、核家族化が進んでいく中で、𨮐ができない家庭が増えてきているのは、残念ながら実情で、学校に過度の負担をかけている一つの要素だと思っています。

「上履きのかかとを踏まない活動」は、平成18年度末に議題に上がり、年度替わりに、各家庭にサイズの確認&購入をしていただき、19年度初めに、各自サイズのそろった上履きで「かかとを踏まない活動」を実施しました。本当に、小さなことですが、PTCA組織により、𨮐を含め、子どもへ「みつともない」という気持ちの意識付けができると、更なるPTCAの可能性を感じた活動でした。

●食農体験をサポート「みのりの会」



PTCAと連携している団体の一つに「みのりの会」があります。地区の女性グループで、会員は約30名です。「みのりの会」の方々は、学校行事の田植え

ング巻き寿司づくりは、12月の恒例行事です。



や稲刈り、タマネギ栽培、芋掘りなど食農体験などをサポートしています。中でも、約20mもある口

域とのふれあいを大切にしたものになっています。

●ラジオ体操と「朝型社会の復権」

平成19年度当初より、毎週・週明けに行われる全校朝礼のときに、地域の方も来てもらって、ラジオ体操と一緒にしています。これは「子どもたちの姿勢が悪くなっている」という、保健指導をしてもらっている医師からの意見があったことと、南国市の保健課より、「地域の方に運動習慣をつけてほしい」という話が公民館を通してあったことから、学校側とも相談して始めました。天候などにより、ばらつきはありますが、毎回約20名の地域の方が参加してくれています。

す。地域の方々は、朝のウォーキングも兼ねて子ども達と一緒に登校した後、朝礼で校長先生の話を聞きラジオ体操に参加します。子ども達の学校生活を見

